

# 中学校第1学年 国語科 学習構想案

日時 令和3年10月7日(木)第5校時

場所 長洲中学校 1年1組教室

指導者 教諭 後藤朝日香

## 1 単元構想

単元名	5 筋道を立てて 話題や展開を捉えて話し合おう グループ・ディスカッションをする (光村図書 国語1 pp.146-149)		
単元の目標	(1)意見と根拠との関係について理解することができる。 [知識及び技能] (2)7 (2)話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめることができる。 [思考力、判断力、表現力等] A(1)オ (3)言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。 「学びに向かう力、人間性等」		
単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	①意見と根拠の関係について理解している。(2)ア	①「話すこと・聞くこと」において、話し合いの展開を捉え、互いの発言を結び付けて考えをまとめている。 A(1)オ	①進んで互いの発言を結び付けて考えをまとめ、学習の見通しを持って話し合いを行おうとしている。
単元終了時の生徒の姿(単元のゴールの姿・期待される姿)			
他教科の学習においても、話し合いをするときに、根拠を持って意見を主張することができ、互いの発言を尊重しながら合意形成を行うことができる生徒			
単元を通じた学習課題(単元の中心的な学習課題)		本単元で働かせる見方・考え方	
仲間の意見を比較・分類しながら話し合い、全員が納得できる結論を出してみよう。		結論を導くために、互いの意見で用いられた言葉に着目し、主張を分類することを通して、言葉への自覚を高める。	
指導計画と評価計画(5時間取扱い 本時4/5)			
過程	時間	学習活動(「問い」を設定しても可)	評価の観点等 ★は記録に残す評価の場面で「具体的評価規準」
見通す	1	○これまでの話し合い活動を振り返り、学習の目標を確認し、見通しを持つ。 ○グループ・ディスカッションの話題を提示する。 ○話題に使われている言葉の意味・定義を共有し、目的を明確にする。	【態①】(観察)
挑戦する	3	○「グループ・ディスカッション」の話題に対する意見を書き出し、その根拠を考え、説得力があるものを自分で選択する。 ○ロールプレイを複数回行い、司会の役割を通して、話題や展開を捉えた発言についての理解をする。 ○司会と書記を決め、グループ・ディスカッションを行い、結論をまとめる。	★【知①】(付箋) ○根拠を明確にし、自分の意見に説得力を持たせている。 【思①】(観察) ★【態①】(観察) ○積極的に互いの発言を結び付けて考えをまとめ、学習の見通しを持ってグループ・ディスカッションをしている。
振り返る	1	○前時を振り返り、再度グループ・ディスカッションをして、充実した話し合いの仕方を検討する。  ○これまでの話し合いを振り返り、よかったことや改善したことを伝え合う。	★【思①】(観察・ワークシート) ○話し合いの展開を捉え、互いの発言を結び付けながら考えをまとめている。 ★【態①】(観察) ○積極的に互いの発言を結び付けて考えをまとめ、学習の見通しを持ってグループ・ディスカッションをしている。 ★【態①】(振り返りカード) ○グループ・ディスカッションでの役割や進め方について振り返り、今後の話し合い活動に向けて工夫しようとしている。

## 2 単元における系統及び生徒の実態

学習指導要領における該当箇所(内容、指導事項等)			
中学校学習指導要領第1学年 〔知識及び技能〕 (2)情報の扱い方に関する事項 7 〔思考力、判断力、表現力等〕「A 話すこと・聞くこと」(1)オ			
教材・題材の価値			
本教材は、話し合い活動を手段ではなく目的として取り上げ、自分の意見を根拠とともに主張し、自他の意見を比較・検討しながら合意形成を目指すものである。グループ・ディスカッションの様子を動画で学んだり、根拠を明確にして自分の意見を構築したりする活動を行うことができる。 実生活において、自分の意見を持って他者と交流し、合意形成をしていく力は必要不可欠である。その過程を理解し、実際に取り組む本教材は、実生活を想定した話し合い活動を学習することに適している。また、自他の考えを尊重するという人権意識の醸成にもつながる教材であるといえる。			
本単元における系統			
中1年 聞き上手になろう 質問で話を引き出す	中1年 話し合いの展開を捉える 話し合いの展開を捉える	<b>中1年 話題や展開を捉えて話し合おう</b> 話題や展開を捉えて話し合う	中1年 一年間の学びを振り返ろう 聞き手の反応に注意しながら話す
中2年 立場を尊重して話し合おう 異なる立場の人と話し合う			
中3年 合意形成に向けて話し合おう 話し合って合意を形成する			
生徒の実態(単元の目標につながる学びの実態)			
<b>■本単元を学習するにあたって身に付けておくべき基礎・基本の定着状況</b>			
項 目	本学級	全国	
話の内容にふさわしいものを選ぶ	17%	37%	
話で説明されていることを選ぶ	48%	42%	
4月に実施した全国標準学力検査では、全国平均正答率が61.0%に対し、64.0%と上回っている。「話すこと・聞くこと」の項目においても、全国平均正答率61.0%に対し、64.5%と大きく上回った。小問ごとに見ると、話の部分的な内容理解に関する問題では、正答率が全国平均を大きく下回っている。一方で、話の概要については正答率が全国平均を6%上回っている。			
<b>■本単元の学習に関する意識の状況</b> 「話し合うことが好きである」と答えた生徒は、25名中11名おり、「友達の意見と比較することで、自分の発言が深まる」「自分では思いつかない考えに気づかされる」というのが理由として挙げた。一方、「話し合うことが苦手である」と答えた生徒は4名おり、「上手く伝えることができない」「恥ずかしい」というのがその理由であった。			
<b>■考察</b> 本学級の生徒は、人の話を聞いて理解する力が定着しているといえる。しかし、話の展開や構成を理解することについては、苦手な生徒が多いことが予想される。また、話し合いの際に司会や記録、発表といった役割分担を行った経験が乏しく、進行や発言の仕方には自信が持てていない生徒も見られる。 以上のことから、話し合いの展開を視覚化すること、進行の仕方を改めて確認することが必要であると考えられる。			

## 3 研究テーマ「問いを発し、課題に主体的に立ち向かい、学びを深める子供を育成する授業づくり」との関連

### ○視点1 導入：生徒が問いを発する工夫

『話し合って良かった』と感じる話し合いの方法を習得しよう』を単元の課題として設定し、見通しを持たせるために、学習計画表を活用した自己評価、振り返りの機会を設定する。【おそらく】

### ○視点2 展開：自分の考えをもって課題に取り組ませる工夫

本単元において2度のグループ・ディスカッションを取り入れる。1度目のグループ・ディスカッションでの経験を根拠とし、「話し合いを充実させるために必要なこと」について、話し合いの役割ごとに立てさせることで、生徒同士の学び合いの場とする。【やってみよう】

### ○視点3 終末：自分の学びを深めさせる工夫

視点2で考えさせた生徒の予想について、1度目と2度目のグループ・ディスカッションを比較させる活動を行う。それにより、生徒に話し合いの知識・技能を理解させるとともに、自身の変容に気づかせ、達成感や充実感が感じられるようにする。【わかった・できた】

4 本時の学習

(1)目標 グループ・ディスカッションで互いの発言を結び付け、充実した話し合いの仕方について理解を深めることができる。

(2)展開

過程	時間	学習活動 (◇予想される生徒の発言)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図、内容、方法等)
導入	10分	<p>1 前時の学習を、役割ごとに振り返る。</p> <p>◇司会：前は、たくさん意見が出たけれど、結論がうまくまとまらなかったな。</p> <p>◇発表：最初の意見は言えたけれど、その後どうやって発言するとよいか分からなかったな。</p>	<p>(問いを生み出す手立て)</p> <p>○振り返りシートを使い、前時の成果や課題を司会・記録・発表者の役割ごとに確認させる。</p>
		<p><b>【めあて】 グループ・ディスカッションを充実させるには、どんな工夫をすればいいだろう？</b></p>	
展開	30分	<p>2 本時の目標を確認し、予想を立てる。</p> <p>◇司会：全ての意見が出たあとに、条件に合わないものを見つけて、一度整理してみよう。</p> <p>◇発表：相手の意見をよく聞いて、反応を返したり、質問をしたりすると、話し合いが先に進んで、充実するのではないかな。</p>	<p>(見方・考え方を働かせて課題解決に向かう方向付け)</p> <p>○前時の課題を踏まえ、予想を立てさせる。その上で、個人やグループの目標を選択させる。また、必要に応じて、教師が意見のつなげ方・まとめ方について助言を行う。</p>
		<p>3 「1年生の仲の良さがさらに深まるために、どんなレクリエーションをすると良いか」について、グループ・ディスカッションをする。</p> <p>①付箋を確認する。</p> <p>◇発表するとき、この根拠を詳しく説明してみよう。</p> <p>②グループ・ディスカッションを行う。</p> <p>◇サッカー部が多いから、サッカーをしたらどうだろう。</p> <p>◇1時間でサッカーゴールの準備・片付けまでするのはできないので、他のレクリエーションにしましょう。</p> <p>◇だったら、道具を使用しなくてもできる鬼ごっこはどうですか。</p> <p>◇私も〇〇さんの意見に賛成です。でも、根拠は別にあります。</p> <p>.....</p> <p>・ <b>【期待される学びの姿】</b> .....</p> <p>・ グループ・ディスカッションの流れに応じて、付箋を移動・分類し、それぞれの立場で.....</p> <p>・ 互いの意見を尊重して、結論を導き出してい.....</p> <p>.....</p> <p>◇1つにまとめたいけれど、意見が2つに分かれているな。時間を区切って2つの活動をするようにしたら、お互いが納得できそうだな。</p>	<p>(個に応じた支援)</p> <p>○前時までの評価や、振り返りカードの記述を基に、司会や発言の仕方が十分に理解できていない生徒に対して、司会・発表カードも共に確認させておく。</p> <p>(課題解決に粘り強く取り組もうとするための手立て等)</p> <p>○グループ・ディスカッションが滞っている場合は、話し合いの進め方カードを示して補助を行う。</p> <p>○時間内に結論が導き出せたグループには、根拠の補強を提案するなどして、異なる視点についての議論を促す。</p>
		<p><b>【具体の評価規準】思考・判断・表現</b></p> <p>○グループ・ディスカッションの展開に応じて、付箋の分類をし、互いの意見を関連付けながら、要点を整理し、考えをまとめている。(方法：観察・ワークシート)</p>	
		<p>○それぞれの付箋に共通する言葉・考え方に着目させて、分類するよう促す。</p> <p>○司会に助言をし、グループ・ディスカッションの状況に応じて妥協案や折衷案で意見をまとめるよう促す。</p>	

終末	10分	<p>4 まとめと振り返りをする。</p> <p>①個人・グループで選択した方法について、振り返りながら評価する。</p> <p>◇根拠を発表してもらおうようにしたら、みんなが納得する意見だけが残って、まとめやすかったな。</p> <p>◇反応を返してもらおうと、話しやすかったし、意見もまとまりやすかったな。司会も進めやすそうだ</p>	<p>○結論が出たグループに質問をし、どのような工夫が効果的だったかを発表させる。その気づきを基に、まとめを行う。</p>
		<p>【まとめ】グループ・ディスカッションでは、相手の意見をよく聞いて反応を返す 発表の根拠を伝えたり比較したりする という工夫をすると良い。</p>	<p>○生徒の振り返りを数名分紹介し、振り返りの視点を共有できるようにする。</p>
		<p>②振り返りをする。</p> <p>◇どんな工夫をすれば話し合いが充実するのかが分かった。今回は結論も出すことができてよかった。</p> <p>◇私たちの班は、結論まではたどり着けなかったけれど、工夫して話し合いをすることができた。他の授業でもやってみたい。</p>	

### 【板書計画】

<p>話題を捉えて話し合う</p> <p>めあて グループ・ディスカッションを充実させるには、どんな工夫をすれば良いだろうか？</p> <p>予想</p> <p>司会…発表のときに、根拠を尋ねる 説得力のある意見に絞る</p> <p>発表…相手の発表に反応を返す 司会の話をよく聞く 記録…根拠を付箋に書いて付け足す</p> <p>まとめ グループ・ディスカッションでは、 ・発表の根拠を伝えたり比較したりする ・相手の意見をよく聞いて反応を返す という工夫をすれば良い。</p>
--

### 【ICT活用計画】

- 本時の導入で、前時の振り返りカードに書かれた予想を大型テレビに提示し、成果や課題を把握させてから本時の学びへと入る。
- 本単元の、グループ・ディスカッションを行う場面では、大型テレビで残り時間を提示し、計画的に話し合い活動を展開できるようにする。
- 本時の終末では、結論が出たグループのワークシートを大型テレビで提示し、意見や根拠、ワークシートの活用の仕方を全体で確認できるようにする。

※その他 課題解決を図る情報収集計画、検証結果やパフォーマンスの記録計画など(シーンに応じて活用計画を立てる)

### 【見方・考え方を働かせて解く適用問題等の計画】

- 単元の終末では、見方・考え方を働かせて次の学習に取り組む。
- 令和3年度全国学力・学習状況調査 1 話し合いをする